

NPO 法人竹の学校 第 12 回通常総会 議事録

書記 有本 睦子

開催日時: 令和元年 7 月 27 日(土) 午前 10 時 15 分 ~ 11 時 40 分

開催場所: 長岡京市中央生涯学習センター(バンビオ1番館) 4 階 学習室1

出席者氏名 (以後、氏名の敬称を省略します):

東 英男、荒木 信輔、有本 睦子、稲岡 喜美子、稲岡 利春、大西 榮子、梶原 正嗣、川路 愛子、
小林 幸一、小林 千代子、澤田石 祥子、下村 秀一、高橋 悦夫、高橋 治女、谷口 攝也、
塚崎 正正、中井 さとみ、中矢 琴枝、西角 摩紀、野本 鉦司、原 道子

以上 21 名

委任者氏名:

池田 チヅ子、河村 嶺、窪田 征明、澤 博通、世良田 芳弘、竹内 優夫、辻井 ひで子、辻井 弘次、
中村 太一、錦織 務、村山 享

以上 11 名

総会次第

1. 開会の言葉 (司会 小林 幸一)

第 12 回通常総会を開催する。

2. 理事長挨拶 (理事長 稲岡 利春)

昨年できなかった 10 周年記念行事として、記念誌を作成し、「竹の学校」の歴史を残していく。

3. 議長選出 (司会 小林 幸一)

司会者により、議長に理事長が選出され、承認された。

4. 議事録書名人および書記の選出 (議長 稲岡 利春)

議長により、議事録署名人に野本 鉦司および高橋 悦夫の 2 名、書記に有本 睦子が選出され、承認された。

5. 開会宣言・総会成立報告 (理事長 稲岡 利春)

会員総数 33 名のうち、有効数 32 名(出席者 21 名、委任者 11 名)。

定款第 5 章第 27 条(定足数)の規定により、本総会が成立することが宣言され、議事に入った。

6. 審議事項(議案の決議) (議長 稲岡 利春)

1) 第一号議案 平成 30 年度事業報告および決算報告について

事業報告 (理事長 稲岡 利春)

添付資料(平成 30 年度事業報告書)に基づいて報告された。

たけのこの収穫量は、明神前竹林の収穫量が増えたので、裏年と台風被害にもかかわらず豊作時の 8 割程度であった。また地域活動として、NHK・BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映された「キツネがすむタケノコの里」の撮影に協力した。

決算報告 (会計 中井 さとみ)

添付資料(平成 30 年度活動計算書、財産目録)に基づいて報告された。

おもに助成金および寄付金により当期正味財産が増額した。

監査報告（監事 高橋 悦夫）

平成 30 年度決算に関する財産目録、貸借対照表および活動計算書について、7 月 17 日に監事 2 名によって会計帳簿およびこれに関する資料を調査し、その結果、適正であることが認められた。

補足説明および質疑応答

- ・たけのこ畑の親竹は、毎年約 1/6 を伐採して更新する。これら伐採竹の 100%が資源循環システムに組み入れられることが理想だが、現在は約 10%を竹チップ・竹炭などに利用している。さらなる有効利用法として製紙企業に期待している。
- ・若い男性の入会促進のため、イベントや複数の企業の環境保護活動の受け入れなどを検討する。

以上により、第一号議案は挙手による満場一致で承認可決された。

2) 第二号議案 令和元年度事業計画ならびに収支予算について（議長 稲岡 利春）

事業計画（理事長 稲岡 利春）

添付資料(令和元年度事業計画案)に基づいて報告された。

収支予算（会計 中井 さとみ）

添付資料(令和元年度活動予算書)に基づいて報告された。

竹の学校のパンフレットの新規作成のため、広告宣伝費に追加計上した。また、こらさ事務室について賃貸料値上げが予告されており、地代家賃に追加計上した。これらにより、当期正味財産は減額する。

以上の報告により、第二号議案は挙手による満場一致で承認可決された。

7. 閉会宣言（司会 小林 幸一）

以上をもって第 12 回通常総会の全議案の審議を終了した。

8. 連絡および報告事項（理事長 稲岡 利春）

- ・パンフレット製作委員会の立ち上げを予定
- ・たけのこの頒布先の拡大について、地元農家との競合回避や供給量などを考え、直接販売の方法を検討
- ・令和元年度作業責任者(案)について、「イベント・教育」業務を追加
- ・今期入会された河村 嶺さん(当日欠席)から、竹の学校の竹チップ・竹炭を使って収穫した野菜と、お礼の手紙の紹介

9. 閉会の言葉（司会 小林 幸一）

以上をもって本日の通常総会を終了する。

以上

この議事録の内容は総会の内容と相違ありません。

令和元年 8 月 2 日

議長

稲岡 利春



議事録署名人

野本 鈿司



議事録署名人

高橋 悦夫

